

| | |
|------------------------|--|
| 組織・グループ名 | NPO法人 まんま |
| 活動区分 ※いずれか1つに○をつける。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 一般助成 〔 当事者活動支援・福祉の学び推進・<u>地域福祉ニーズ(課題)対応</u>・地域福祉コミュニティ構築 〕 ● 協働事業助成 〔 1. 福祉教育・ボランティア学習プログラム構築に係る先駆的な活動 2. 地域住民、関係機関・団体の福祉意識の醸成を基盤とし、幅広い世代の社会参加推進に係る先駆的な活動 〕 |
| 助成事業名 | 子どもの育ち相談日「ぼれぼれ」 |

助成事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入すること。

【親子が集うひろば内で相談の場の実施】

●ひろばで気軽に相談

主に0～3才の親子が集うひろばに、ピア相談員として地域で障がい理解啓発活動をしているグループや先輩ママを呼び、いつものひろばで子どもを遊ばせながら、相談員に発達で気になることや不安を話せる場を提供。障がいの有無に関わらず同じ悩みを持つ親同士も交流し、情報交換の場にもなった。相談の内容に応じ、個別で相談出来る事も伝えた。



●個別相談

個別でピア相談員とじっくり話せる場を予約制で実施。必要に応じて専門機関で相談が出来る事も伝えた。

●今後は、地域で気軽に相談が出来る場として親子に定着してきたことや、いつも利用していたひろばで、成長してからも不安や悩みを相談できることが知られつつある。引続き継続、実施していきたいと思えます。

【ひろば利用のきっかけになるよう親や子どもへ向けてプログラムを実施】

●勉強会 ①発達障がい理解啓発講座・「みんなちがってみんないい」

講師：地域の障がい理解啓発活動グループ

・参加者より「接し方がわかり理解につながった」「当事者の方の話は、とてもわかりやすく今後の対応の勉強になりました」など良かったとの声があった。



②やってみよう！カラダの基礎を育てる遊び

講師：作業療法士

・親子での遊びと講座の時間を設け実施。先生の解説を交えた身体を使った遊びを実際に親子で体験した後、参加者からの感想や質疑応答の時間を設けた。日頃困っていることや、子どもの行動の意味など多くの質問に、先生からのアドバイスを受けて、有意義な講座となった。



【地域のネットワーク（障害者自立支援協議会など）】

地域のネットワークに積極的に参加し、地域の課題から親子にとってどんな資源が必要かなど検討する場を持つことができた。今後も継続して参加し親子支援にもつなげていきたいと考えています。